

保険者を訪ねて

みんなが

わくわくする

御船町



《 御船町の概要 》 (令和3年7月末現在)

人 口	16,995 人	
国保被保険者数	4,281 人	
後期高齢者数	2,893 人	
世 帯 数	7,331 世帯	
	国保世帯数	2,624 世帯
医療機関等数	医科	10 機関
	歯科	7 機関
	調剤薬局	8 薬局

担当課・係	職 員	(うち専門職)
健康づくり保険課 保険係	7 人	0 人
健康づくり保険課 健康推進係	9 人	9 人
町民税務課課税係	7 人	0 人
町民税務課徴収係	3 人	0 人

※会計年度任用職員を含む。

御船町は、熊本、そして九州のほぼ中心部に位置し、交通アクセスも抜群で、南北を結ぶ九州自動車道と、東西を結ぶ九州中央自動車道が通っており、3つのICを有しています。

観光面では、世界的にも注目されている恐竜博物館や自然あふれる吉無田高原の他に、近年は、熊本県出身の漫画家・尾田栄一郎氏が描く人気漫画『ONE PIECE』のキャラクター「ブルック」像が立像されたり、大型商業施設を誘致するなど話題のスポットも数多く存在します。

「みんながわくわくする御船町」を将来像に掲げ、町民、企業、団体等と行政が一体になって、まちづくりに取り組んでいます。



健康づくり保険課の皆さん



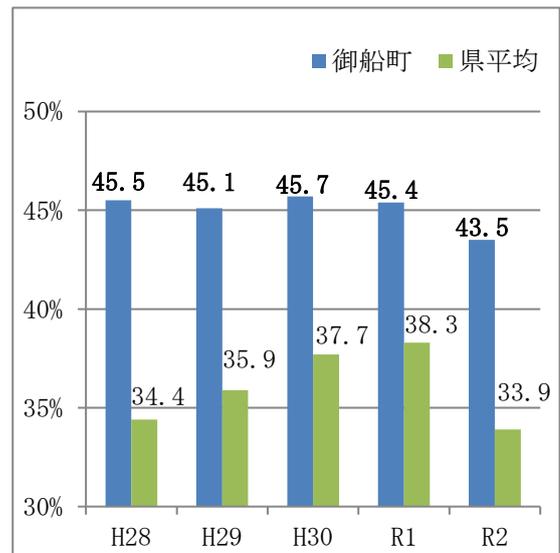
取材の様子

御船町

は、長年、特定健診受診率（図1）が熊本県平均より高いものの、目標の65%には及ばず、例年45%前後と伸び悩んでいます。また、人工透析率も熊本県内3位（令和2年5月時点）と高く、国保の医療費が近年増えている状況です。透析患者の中には、過去に町の健診を1度も受診したことがない方もおり、健診未受診者への対策強化が必要だと感じています。特定健診受診者においても、高血糖（ヘモグロビンA1c6.5%以上）や高血圧（Ⅱ度高血圧以上）の有所見者が増加傾向にあり、生活習慣病の予防も喫緊の課題となっています。

今回は、このような課題に対する取り組みについて、御紹介します。

（図1）特定健診受診率



※各年度実施分結果報告（法定報告）より

保健事業の取り組み

～特定健診の受診率向上に向けて～

本町では、2月に全世帯に対して健診申込書を送付し、7月上旬に集団健診を土日も含め、2週間程度実施しています。受診できなかった方には、秋の住民健診として、11月中旬に3日間程度実施しています。

令和2年7月実施時は、新型コロナウイルス感染症の影響で、健診受診者数が例年と比べ少なく、健診受診率も減少が予想されましたが、秋の住民健診申し込みから、町のホームページでも申し込みができるように変更したり、未受診者宛ての健診申込書にホームページのQRコードを載せて誘導する等の対策を実施したため、令和2年度の健診受診率は43.5%となる見込みです。

また、今年度から、個別健診（特定健診）を実施する予定で準備を進めていましたが、医療機関の新型コロナウイルスワクチン接種による業務量増加に伴い、断念しました。

その他、20～39歳の若者健診も実施しており、最近では、毎年受診する方も増える等、若い世代への意識付けが進んできたと感じています。人間ドックについては、熊本市内の4機関と契約しており、受診者に対し町からの助成もあることから、例年500人を超える多くの方に受診いただいています。

歯科健診は、町内委託歯科医院にて実施しており、節目年齢（40、50、60、70歳）の方は、無料で受診できます。

特定健診未受診者対策～健康づくり地区推進員との連携～

本町では、7月に実施する集団健診の未受診者に対し、健診の重要性を記載した通知（図2）と秋の住民健診申込書を送付し、受診勧奨を実施しています。

また、令和2年度からは、7月の未受診者のうち、40、41歳については、受診率の低い40歳代に対する早期介入対策として、栄養士が個別訪問、電話による受診勧奨又は問診票の送付を実施しています。秋の住民健診前には、各行政区の未受診者のリストを作成し、健康づくり地区推進員（以下、「推進員」という。）に提供し、未受診者への受診勧奨を行っていただいています。

本町の推進員は、81行政区の各区長の推薦により各1人選出され、町が定期的に関係する研修会に参加してもらいます。まずは、推進員自身に健康について興味を持ってもらうねらいがあります。その後、地区住民に還元するため、地区で健康教室を開催する等、健康づくりに関する取り組みを各々で実施しています。推進員の任期は2年で、これまで多くの方に委嘱していますので、新旧の推進員の方々が、健康づくりに関する発信者となることを期待しています。現在は、コロナ禍により受診勧奨や推進員との連携が縮小していますが、工夫をしながら引き続き実施したいと考えています。

その他、健康づくり推進協議会を設置し、行政のみならず、住民、企業、団体等が一堂に会し、町の現状や医療データについて情報共有、協議する場を設けています。

～特定保健指導と重症化予防～

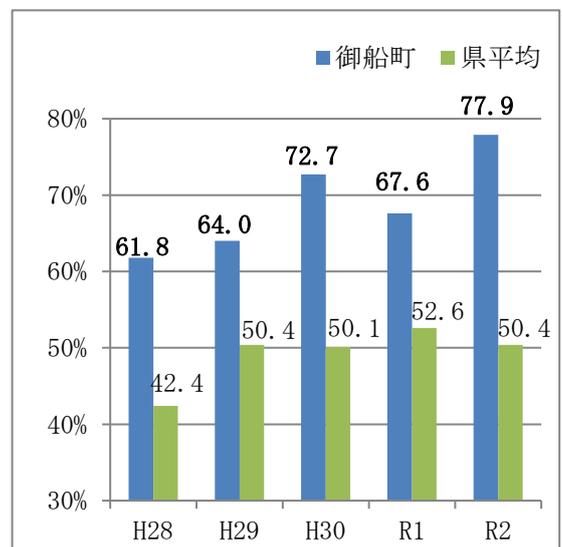
特定健診の結果説明は、令和元年度までは、保健センターや地区公民館での結果説明会の際に手渡ししたり、保健センターに取りに来てもらう等、郵送はしていませんでした。しかし、令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部郵送にて対応せざるを得ない状況になりました。

特定保健指導は、例年8月に対象者を保健センターにて面談しています。動機付け支援対象者については、専門職で実施していますが、積極的支援については、熊本県総合保健センターに委託して実施しています。指導未実施者に対しては、専門職から定期的に電話等で対応しています。

（図2）特定健診のご案内



（図3）特定保健指導実施率



※各年度実施分結果報告（法定報告）より

特定保健指導実施率（図 3）は熊本県平均を上回っていますので、今後は、成果を出す保健指導をめざし、より効果的な特定保健指導に取り組みたいと考えています。

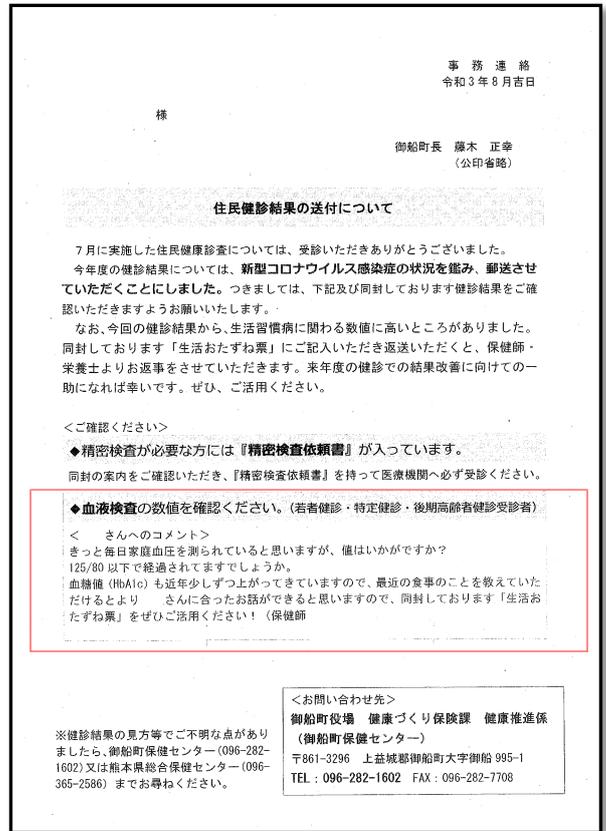
重症化予防

今年度は、特定健診受診結果を基に、ヘモグロビン A1c6.5%以上、Ⅱ度高血圧以上、LDL-コレステロール 180 mg/dl 以上、中性脂肪 300 mg/dl 以上、eGFR45ml/分未満、尿蛋白 2+以上、心房細動がある方を対象に、保健師 3 人、栄養士 4 人で面談による保健指導を実施しています。

コロナ禍のため、優先順位の低い対象者には、健診結果に保健師によるコメント付きの健診結果送付書（図 4）、食事記録表を同封して郵送しています。その後、対象者から記入した食事記録表を返送してもらいます。食事記録表の内容は専門職で分析し、コメントを記入し返送しています。また、必要に応じ訪問又は電話にて対応しています。

また、高血糖・高血圧者については、管理台帳を作成しており、健診未受診者や治療中断者には、健診の受診勧奨、医療機関への受診勧奨を実施しています。

（図 4）保健師によるコメント付き健診結果送付書



健康づくりに関するインセンティブ

健康ポイント事業

本町では、令和3年度から熊本連携中枢都市圏での共同実施による熊本健康ポイント事業（図5）「熊本健康アプリ（スマートフォン専用）」に参加しました（スマートフォンを持っていない方は別方法にて参加可能）。現在、御船町地域包括ケア推進会議（他部署と連携する庁内会議）において、健康増進を目的としたイベントを企画・検討しているところです。住民にイベントに参加してもらうことで、ご自身の健康に関心を持ち生活習慣の改善につなげる、獲得したポイントで賞品に応募するというインセンティブがあります。

まずは、多くの住民に参加・登録してもらえよう事業の周知啓発を図り、楽しんで参加できる健康づくり事業として定着させたいと考えています。

（図 5）熊本健康ポイント事業



まちの見どころ

吉無田高原

緑の村



自然のスロープをソリに乗って一気に駆け抜けるローンスキーは迫力満点！子どもはもちろん、大人も全力で楽しめます。

緑の村 星の森ヴィラ



吉無田高原の丘の上にそびえる星の森ヴィラ。全部で5棟あるドームハウスは、それぞれ趣きの違ったデザインが魅力です。

特産品認定品 御船のいさぎ



約9千万年前の白亜紀後期の地層を有し、恐竜が躍動していた大地でもあった「恐竜の郷御船町」。

その生命力と躍動感溢れる自然豊かな大地で育まれた「御船の逸品」が認定特産品として数多く販売されています。

「いさぎ」は、熊本弁で元気・たくさん・とてもを表し、御船町の風土記では、素晴らしいという意味を含む言葉です。

認定については、他商品とある程度の優位性が保たれ、生産者の想いがこもった商品の中で、御船らしさや独自性など自信と誇りを持って発信できるものを認定しています。